



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 進学会

コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平井 崇浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 松田 啓

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,958	△1.2	132	115.8	640	△27.6	4,922	595.9
27年3月期第3四半期	4,006	△7.3	61	120.4	885	29.5	707	29.9

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 4,541百万円 (595.2%) 27年3月期第3四半期 653百万円 (△7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	246.39	—
27年3月期第3四半期	35.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	30,136	28,258	93.8	1,414.31
27年3月期	25,898	23,858	92.1	1,194.11

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 28,258百万円 27年3月期 23,858百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,680	0.2	170	2.3	570	△51.5	4,960	603.5	248.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	20,031,000 株	27年3月期	20,031,000 株
28年3月期3Q	50,853 株	27年3月期	50,823 株
28年3月期3Q	19,980,159 株	27年3月期3Q	19,980,189 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあるという予断を許さない状況となりました。

当学習塾業界におきましては、少子化傾向に対応するために各社ともエリア拡大や集客力のあるメニュー開発を行い、経営体質の強化や業容拡大、シナジー効果を期待した業務提携や資本提携の動きが見られ、業界再編が進行しております。また、進学校への受験意欲は高く、進学塾に対するニーズは依然根強いものがあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き会場のスクラップ&ビルドを積極的に推進し、地域ナンバーワン校への合格実績を高めるためにコース・メニューの拡充と指導力の更なる強化を実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は3,958百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は経費削減などにより132百万円（前年同四半期比115.8%増）、経常利益は640百万円（前年同四半期比27.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社であった栄光ホールディングス株式会社の株式を売却したことなどにより4,922百万円（前年同四半期比595.9%増）となりました。

なお、栄光ホールディングス株式会社は、第1四半期連結会計期間末において持分法の適用範囲から除外されております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ①塾関連事業

当第3四半期連結累計期間においては、冬期講習会に向けて会場のスクラップ&ビルドを進め、12月末時点では本部数68本部（前年度末は67本部）、会場数は325会場（前年度末は336会場）となりました。前年度に株式会社浜学園と設立した株式会社浜進学会（塾名浜進学会）は、本年度春期講習から名古屋に金山駅前校を開設し、夏期講習から2校目として八事滝川校を、冬期講習から3校目として御器所校を開校しました。

個別指導部門の株式会社プロGRESSは、開設都市を増やした結果、売上高は175百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

この結果、塾関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,168百万円（前年同四半期比2.4%減）となりましたが、セグメント利益は経費削減努力により286百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

#### ②スポーツ事業

札幌市内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZ i pは、健康志向の高まりにより売上高は450百万円（前年同四半期比1.3%増）となりましたが、セグメント利益は設備の更新などにより38百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

#### ③賃貸事業

当社が保有する賃貸物件等は、入居率も高く、売上高は136百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は78百万円（前年同四半期比49.8%増）となりました。

#### ④その他

本セグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売などを含んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、外販が持ち直したため、売上高は202百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比77.6%増）となりました。

※セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,337百万円増加しました。これは主に現預金が6,963百万円増加したことによるものです。固定資産は13,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,099百万円減少しました。これは主に投資有価証券が2,912百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は30,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,238百万円増加しました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加しました。これは主に前受金が455百万円増加したことなどによるものです。また、固定負債は495百万円となり、前連結会計年度末に比べ335百万円減少しました。

この結果、負債合計は1,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円減少しました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は28,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,399百万円増加しました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は93.8%（前連結会計年度末は92.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、平成27年7月15日付「持分法適用関連会社の異動（株式譲渡）に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、平成27年10月1日付で、有限会社進学会ホールディングスは株式会社進学会を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,103,586	16,067,543
受取手形及び営業未収入金	79,984	54,052
有価証券	122	123
商品及び製品	12,728	11,052
仕掛品	2,877	6,471
原材料及び貯蔵品	23,757	8,659
繰延税金資産	51,227	25,604
未収入金	388	13,725
未収還付法人税等	29,203	406,813
その他	93,417	141,006
貸倒引当金	△835	△944
流動資産合計	9,396,458	16,734,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,910,616	9,888,525
減価償却累計額	△6,075,209	△6,205,686
建物及び構築物(純額)	3,835,406	3,682,839
機械装置及び運搬具	551,128	552,034
減価償却累計額	△511,437	△518,724
機械装置及び運搬具(純額)	39,691	33,310
土地	2,665,479	2,665,479
その他	969,594	970,856
減価償却累計額	△907,417	△914,416
その他(純額)	62,177	56,440
有形固定資産合計	6,602,754	6,438,069
無形固定資産		
ソフトウェア	12,512	11,593
電話加入権	1,259	1,259
施設利用権	6,425	6,425
無形固定資産合計	20,196	19,277
投資その他の資産		
投資有価証券	9,381,079	6,468,502
繰延税金資産	1,830	3,714
敷金及び保証金	314,599	290,478
退職給付に係る資産	18,645	26,716
その他	162,540	155,490
投資その他の資産合計	9,878,695	6,944,901
固定資産合計	16,501,647	13,402,249
資産合計	25,898,105	30,136,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,133	60,249
未払金	451,936	224,672
未払法人税等	123,904	94,206
未払費用	182,440	173,591
前受金	336,721	791,917
その他	9,398	38,316
流動負債合計	1,208,535	1,382,955
固定負債		
繰延税金負債	354,492	16,967
役員退職慰労引当金	256,516	266,037
資産除去債務	194,404	187,453
預り敷金保証金	25,666	24,815
固定負債合計	831,080	495,274
負債合計	2,039,615	1,878,230
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	16,027,811	20,855,513
自己株式	△45,516	△45,535
株主資本合計	23,310,395	28,138,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509,396	87,612
為替換算調整勘定	3,427	-
退職給付に係る調整累計額	35,270	32,436
その他の包括利益累計額合計	548,094	120,048
純資産合計	23,858,489	28,258,127
負債純資産合計	25,898,105	30,136,357

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,006,958	3,958,246
売上原価	3,167,121	3,101,840
売上総利益	839,836	856,405
販売費及び一般管理費	778,621	724,326
営業利益	61,214	132,079
営業外収益		
受取利息	63,086	47,930
受取配当金	49,603	63,485
持分法による投資利益	329,925	-
有価証券償還益	-	3,520
有価証券売却益	297,028	503,073
有価証券評価益	49,710	990
為替差益	9,907	-
その他	27,610	18,245
営業外収益合計	826,871	637,245
営業外費用		
有価証券償還損	660	-
持分法による投資損失	-	119,092
為替差損	-	8,237
その他	2,337	1,056
営業外費用合計	2,997	128,386
経常利益	885,089	640,937
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,903,426
特別利益合計	-	4,903,426
特別損失		
固定資産除却損	5,170	20,832
投資有価証券評価損	-	563
その他	22	-
特別損失合計	5,193	21,395
税金等調整前四半期純利益	879,896	5,522,969
法人税等	172,428	600,010
四半期純利益	707,468	4,922,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	707,468	4,922,958

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	707,468	4,922,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,988	△440,711
退職給付に係る調整額	1,408	△2,834
持分法適用会社に対する持分相当額	△41,391	15,499
持分法適用会社に関する持分変動差額	△22,207	46,627
その他の包括利益合計	△54,201	△381,418
四半期包括利益	653,267	4,541,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653,267	4,541,539
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塾関連事業	スポーツ 事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,246,862	444,737	134,926	3,826,526	180,432	4,006,958	—	4,006,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	44,801	44,801	120,886	165,687	△165,687	—
計	3,246,862	444,737	179,727	3,871,327	301,318	4,172,646	△165,687	4,006,958
セグメント利益	231,344	44,967	52,465	328,777	9,619	338,396	△277,182	61,214

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	塾関連事業	スポーツ 事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,168,570	450,639	136,668	3,755,877	202,368	3,958,246	—	3,958,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	69,417	69,417	133,029	202,447	△202,447	—
計	3,168,570	450,639	206,086	3,825,295	335,398	4,160,693	△202,447	3,958,246
セグメント利益	286,217	38,369	78,583	403,171	17,086	420,257	△288,178	132,079

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成27年10月1日付の有限会社進学会ホールディングスとの合併を契機として、事業セグメントの区分方法を見直した結果、当第3四半期連結会計年度より、報告セグメントを従来の「塾関連事業」「スポーツ事業」から、「塾関連事業」「スポーツ事業」「賃貸事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。